

ANAは、2017年、鹿児島就航60周年を迎えました。皆様方の長年にわたるご愛顧に、心より感謝申し上げます。

鹿児島県には、現在、世界自然遺産の「屋久島」と世界文化遺産の「明治日本の産業革命遺産」を構成する旧集館等があり、さらに2018年夏の世界自然遺産登録を目指す奄美大島と徳之島があり、これが実現すると、全国で唯一文化遺産と複数の自然遺産を有する県になります。

今回、有識者の方々による世界遺産の保護と未来についてのトークセッションと、城之内ミサ氏作品の美しい楽曲と演奏と共に鹿児島の素晴らしい世界遺産の魅力をご紹介します。未来へのメッセージをお届けするイベントを企画しました。ぜひとも鹿児島の魅力を堪能し、素敵なひと時をお楽しみください

ANA presents 鹿児島の夕べ

～世界遺産保護の現状と未来を語る～

ユネスコ平和芸術家
城之内ミサ

ユネスコ・パリ本部公式パートナーシップ事業
世界遺産トーチランコンサート

2017年3月28日(火)

会場：第一生命ホール

東京都中央区晴海1-8-9(晴海トリトンスクエア内)

開演18:00～[トーク45分・コンサート60分]

お申込み：<http://www.wh-trc.org/>

第一部 トークセッション

松浦 晃一郎(第8代ユネスコ事務局長)

星野 一昭(鹿児島大学特任教授)

島津 忠裕(島津家第33代 株式会社島津興業 代表取締役社長)

城之内ミサ 音楽家/ユネスコ平和芸術家

自作アルバムは欧米チャート上位にランクイン。世界的実績を評価され06年にユネスコ・パリ本部から『ユネスコ平和芸術家』に任命。作曲部門では日本人で初の任命となった。ユネスコ本部のメッセンジャーとして世界でも期待されているアーティスト。



© Hirokazu Takayama

第二部 コンサート

城之内ミサ：作曲、ピアノ

[世界遺産トーチランコンサートオーケストラ スペシャルメンバー]

高桑 英世：フルート/篠笛/ティンホイッスル

庄司 知史：オーボエ/イングリッシュホルン/ドゥドゥーク

馬場 信子：琴

田代 修二：キーボード

船本 英雄：パーカッション

桐山なぎさ：ファーストヴァイオリン

大久保祐子：セカンドヴァイオリン

渡部安見子：ヴィオラ

阿部 雅士：チェロ

齋藤 順：コントラバス

ヴォーカル：フォルバレーノ(梁瀬のぞみ 小山侑紀 増田桜美)

合唱：東邦音楽大学附属中学高等学校合唱団

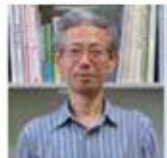
ソロ：中村ルミーナ(soprano)

手話振り付け：黒澤慶子 飯島章子 山下美紀



松浦晃一郎 第8代ユネスコ事務局長

東京大学法学部中退、外務省入省。1961年、米国ハヴァフォード大学経済学部卒業、経済協力局長、北米局長、外務審議官等を歴任し、駐仏大使、世界遺産委員会議長を経て、1999年から2009年まで第8代ユネスコ事務局長を務める。



星野一昭 鹿児島大学特任教授

自然保護専門家として、屋久島・知床・小笠原諸島の世界自然遺産登録やその後の管理に大きな役割を果たす。現在はその卓越した手腕を生かし、奄美沖縄地域の世界自然遺産登録を目指し、日々尽力されている。奄美沖縄地域の世界自然遺産候補地科学委員会委員。



島津忠裕 島津家第33代 株式会社島津興業 代表取締役社長

島津興業が運営する仙巖園等を舞台とする集館事業の世界遺産登録へ向けた活動を指揮し、2015年「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として登録を実現した。鹿児島市の総氏神さまである島津斉彬公を祀る照國神社の権禰宣も務める。

主催：全日本空輸株式会社 鹿児島支店

協賛：鹿児島県

協力：NPO法人ユネスコパートナーシップ世界遺産トーチランコンサート協会